



カ 議会だより かみまち

ちいさな虎さん登場
(4/19 中新田幼稚園・なかよしこども園)

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索

<http://www.kami-town.stream.jfit.co.jp/>

3月定例会/2月・3月・4月臨時会

予算案 ちょっと待った	P2
予算審査特別委員会	P4~7
一般質問 町政を問う(8人が質問)	P13
議会広報モニター座談会	P24
あれからどうなった(追跡シリーズ)	P26
町村議会広報全国コンクール優良賞	P27

ちょっと待った!!

を全会一致で可決

3月 定例会

3月定例会は3月7日から16日まで10日間開催しました。
今年度のまちづくりの方針を示す施政方針演説のあと、8人の議員による一般質問が行われ、町政運営について問いただしました。
議案審議では、ボルダリング施設の指定管理者の決定や各種会計補正

予算案、人権擁護委員の人事案などが提出され、新年度の当初予算全11会計については、予算審査特別委員会を設置して慎重に審査しました。
提出された40議案の内、一般会計予算を一部修正し、その他は原案の通り可決しました。

定例会で審議した内容

報告	1件
条例	10件
平成29年度補正予算	11件
平成30年度当初予算	11件
工事請負契約・変更協定	2件
指定管理	1件
人事案件	2件
その他	2件

施政方針

住民参加で持続可能な未来へ



加美町長 猪股 洋文

今年には合併15周年の節目の年に当たります。
人口減少や高齢化率の上昇は止まらず、昨年12月末時点で2万3853人、高齢化率は34・7%に達しました。
一本算定に伴い地方交付税が減少する中、地方創生を着実に推進する予算編成をしました。

イ 移住定住促進の一環として、子育て世帯向け宅地分譲第2弾、小野田下原地区の町有地13区画を5月に分譲する予定にしています。
カ 観光の振興は、国の地方創生交付金を活用し薬菜地区に、宮城県初となる公共の屋内ボルダリング施設の開設、ツール・ド・347、シー・トゥー・サミットの開催東北初の、未就学児対象ランニングバイク常設コースを設置し、大会開催を計画しています。
農家所得の向上とし

て、薬用植物試験栽培を行い、数年後には、本格的な契約栽培にこぎつけられるよう取り組んでいきます。
エ エネルギー自給率の向上としては、4月に新電力会社を設立し、12月の供給開始を目指し準備を進めています。
昨年度バツハホールが地域創造大賞（総務大臣賞）、大崎耕土が世界農業遺産に認定された事を誇りとし、伝統文化や豊かな自然、生物多様性を、次世代に引き継いでいく決意を新たにしなければなりません。
町民の皆様も主体的に行動して頂き、持続可能な未来を創っていくようではありませんか。





平成30年度予算案

一般会計予算、修正案

一般会計予算

一般会計は、福祉や教育、産業の振興、土木建設など基本的な行政運営を行うための予算です。

平成30年度当初予算は、歳入・歳出それぞれ13億3千万円とし、前年度より1億2千万円減額の予算となりました。

歳入では、町に交付される地方交付税が2億円、国県支出金は約6千744万円減額されました。

町税などの自主財源も、前年度より約2千200

万円減額となっており、今後も安定した財源の確保が課題となっています。

歳出では、観光などの充実に商工費が、前年比約8千800万円増額しています。

新年度では、移住定住促進事業や大崎地域消防本部庁舎整備事業、小中学校改修や公共施設修繕事業など、多くの事業に取り組みます。財政状況に応じた事業とその効果について審議しました。



中新田公民館建設基本設計委託料
13,846,000円を減額し
同額を予備費へ修正

予算審査特別委員会で慎重審査

昨年の9月定例会の決算審査特別委員会では、平成28年度の一般会計を否決し不認定となりました。

既に執行された予算のため実質的な影響はありませんでしたが、町政運営に一石を投じた形になりました。

これを受け、今回の予算審査特別委員会では、議員の役割の一つであるチェック機能を十分果た

すため、総務建設・教育民生・産業経済の3つの常任委員会ごとの分野に分け全員で審査しました。

また、これまでの審査は、町長や課長などが答弁をしていました。今回から町長を除く課長以下実務担当者に、より詳しい答弁を求めました。

町長は、予算審査特別委員会の最終日に出席し、総括質疑に答弁することになりました。



安全・快適・協働【総務建設】



問 エフエム大崎、エフエムたいはく、エフエム仙台の委託料があるが、効果は。

答 FMとタイアップして、加美町の食材や観光をPRするイベントを行っており、FMを通じて交流人口の増加を期待している。

問 木質バイオマス設計委託料の予算があるが、導入による費用対効果などの説明は。

答 現在使用している重油ボイラーの湯量、重油の量、削減効果、設置箇所などを調査し、設計する内容である。

問 防火水槽設置工事1100万円はどこに設置をするのか。また、合計何基になるか。

答 防火水槽の設置箇所は小野田地区の原行政区（矢倉）である。合計設置数は、全体で25カ所である。



議員間討議での意見

町政情報放送事業委託料は、発信範囲の重複もあり、聴衆率や費用対効果を見直し、精査する必要がある。木質バイオマスに関しては、費用対効果や設置場所など、再度、独自調査を行う必要があるのではとの意見があった。

子育て・学び・生涯学習【教育民生】



問 「心のケアハウス」開設場所の検討は。

答 宮崎庁舎の教育委員会に設置する。各学校に紹介し、子どもたちの実態を把握した後、家庭を訪問する予定である。

問 4月からの学校給食調理業務委託のPTA・保護者への説明は。

答 学校には11月に説明した。平成30年1月に、東小野田小学校、中新田中学校の保護者に説明し、民間委託のQ&Aを配布した。

問 中新田公民館建設基本設計委託料は、検討委員会の答申が出る前で、議会にも説明がないまま当初予算に計上されているが、その根拠は。

答 利用者アンケートをとった結果、新築、改修など、何らかの手だてが必要だということが8割以上であった。担当課としては、早急に対応したいという思いがあり、今の公民館と同等の広さで、官庁施設の積算基準で算定した。執行部としては説明不十分であり、凍結したい。



議員間討議での意見

中新田公民館建設基本設計委託料は、整備検討委員会からの答申が出されていない。また、議会へ規模など何の説明もないままの予算計上はあり得ない。執行部は凍結するというが、もう一度順を追って検討する必要があるとし、予算を認めないとの意見が多かった。

自然・魅力・賑わい【産業経済】



問 平成29年度の中新田地区、商店街整備検討委員会はどのような活動だったのか。また平成30年度は継続するのか。

答 検討委員会は、平成28年度に終了した。本年度からは、商店街拠点施設整備推進委員会を設置し拠点施設整備計画案の内容及び使途について検討してもらう。

問 農業とアウトドア活動に従事する地域おこし協力隊員を採用するというが、活動内容は。

答 ボルダリング施設で地域住民のための講座の企画や運営、PR活動を行う。アウトドアの隊員は、観光まちづくり協会の拠点に、アウトドアランド形成事業の企画・運営・マップの作成、または音楽、温泉、薬草、地域のお祭りなど、町の資源を生かしたイベント活動をする。

問 鳥獣被害対策実施隊への報酬は。

答 隊長、年額2万円、副隊長3名、1万7000円、隊員に1万4000円となっている。また捕獲した際、イノシシは1頭8000円、猿は1頭1万円を報償費として支払う。

議員間討議での意見

現時点の拠点施設整備案は6つの機能、観光情報発信・ぼのぼのミュージアム・健康の駅・にぎわい創出・生涯学習・ウェルネスセンターを入れた施設で検討したいとのことだが、議会、町民への説明が十分ではないかとの意見があった。

総括質疑

議会運営委員会

委員長 木村哲夫



3日間の常任委員会単位で行われた予算委員会（町長を除く）で審議された内容、また議員間討議で出された意見を取りまとめ、町長へ総括質疑が行われた。

項目	質問内容	町長答弁
町政情報放送業務委託料	ラジオ放送の効果と必要性は。	テレビ、新聞広告に比べると比較的安価であり、多くの方が仕事や、通勤途中で、聞く事ができ、有効な媒体である。 FMたいはく、FM仙台は、エリアが重複する認識を持っている。
木質バイオマス導入調査委託料	木質チップボイラーの検証を含め庁舎内で十分検討し、方向性を整理することが先ではないか。	ゆ〜らんどは、チップボイラーではなく、まきボイラーの導入が最適であると考えている。
中新田公民館建設基本設計委託料	中新田公民館整備検討委員会の答申も出されていない状態で、基本設計委託料を予算計上する理由は。	中新田公民館整備検討委員会で3度の議論を経て、委員15人全員が新築の方向で合意したということから、答申前ではあったが予算計上した。
中新田地区商店街活性化推進委員謝	商店街活性化推進委員会は、各団体代表15人以上で構成し、意見を聞く場とあるが委員会の役割は。	これまでの意見、要望を踏まえながら、旧やません跡地をどう活用するか、どうすれば商店街全体の活性化を図れるかを、ゼロベースで意見を収集し検討してもらいたい。

討 論

平成30年度加美町一般会計歳入歳出予算認定において、修正案に対して3人が賛成の立場で討論をしました。なお、討論された内容(抜粋)は次の通りです。

討論とは 案件が表決に付される前に、その案件に対して議員(委員)が賛成または反対の意見を表明することを目指す。



修正案賛成

手順に従って行うことを求める

沼田雄哉 委員

中新田公民館の建設自体に反対するものではないが、検討委員会の答申、公共建築物の全体計画が作成されていない。議会に説明がない状況で、基本設計委託料を認めることはできない。町政情報放送業務委託料はラジオという同じ媒体で重複するエリアで行うことは再考すべきである。木質バイオマス導入業務委託料は情報収集をもとに慎重に検討して進めるべきである。中新田地区商店街活性化推進はもう一度振り出しから検討すべきと考える。何事も手順に従って行うことを求める。



修正案賛成

町民が一体となってまちづくりに当たれる状況を

一條寛 委員

平成30年度一般会計予算は交付税の2億円減額などによる総額133億3000万円の身の丈に合ったものと評価する。

しかし、中新田公民館建設は厳しい財政状況を考え、建て替えの必要性を十分検討し進めるべきである。議会の役割と責任を明確にする上から修正案に賛成する。町の現状は、強すぎる町長のリーダーシップもあり町民の一体感が醸成されていないと感じる。公民館の建設以上に町民が一体となってまちづくりに当たれる状況をつくることを要望する。



修正案賛成

手順を無視することに大きな疑問

伊藤淳 委員

中新田公民館の建設は、地区民の悲願である。しかし平成30年度予算編成では事業確定までの作業で本来行われるべき手順を逸脱したやり方がされ、審議機関並びに議決機関の意向も全く無視された。答申を踏まえ計画されるべき事柄や議決されてから執行されるべき事案が、手順を無視することには甚だ大きな疑問を感じる。地区民の悲願は一刻も早い着手であるが、本来の形で事業執行が行われることを望み、予算案は修正されるべきと考える。

必要性や効果などに疑義

予算審査特別委員会委員長 高橋 聡 輔



平成30年度加美町一般会計予算については、各種事業を審査した結果、事業の必要性や効果などに疑義が生じるものも見受けられましたので、今後、速やかに改善を検討していただきたいと思います。

町政情報放送事業については、その効果が甚だ疑問であり、特に、エフエムたいはくに対する業務委託については、その必要性すら希薄であるとの意見もありました。よって、エフエムたいはくに対する業務委託については、その費用対効果を再度検証し、平成30年度中において、本事業を廃止するよう求めるものとします。



中新田地区商店街活性化推進委員会については、検討する内容とその役割を十分精査し、基本的な方向性を整理した上で、地域住民に対する開かれた議論や議会への説明責任を果たすなど、透明性の確保に努めていただきたいと思います。



中新田公民館建設工事に伴う基本設計業務委託料については、先に設置した中新田公民館整備検討委員会の答申も出されていない状況の中で、あたかも施設建設を既定路線とするかのような予算計上は著しく不適切なものであり、議会としては、甚だ遺憾であると言わざるを得ません。よって、今後、このようなことが

ないよう、十分、注意していただきたいと思います。なお、本件について、予算審査特別委員会として予算案を修正し、きたるべきときに事業執行できるよう配慮しておりますので、十分な検討を実施した上で、適正な事務処理を行っていただきますようお願いいたします。



予算をチェック

「イカノエ」?

イ

移住・定住の促進

新たに住宅の取得を行う新婚・子育て世帯、新規転入者に対して住宅取得した経費の一部を補助(最高100万円)します。

カ

観光の振興

モンベルと連携を図りながらアウトドア愛好者の誘客など、スポーツ・ツーリズムの拠点整備で交流人口の増加が期待されます。

ク

農家所得の向上

肉用牛・肥育素牛の導入や6次産業化に向けた助成金などです。

コ

エネルギー自給率の向上

新電力会社を設立し、供給開始を目指します。

町民1人あたりの予算

55万8839円

(H29.12.31の人口23,853人で算出)



民生費

13万8497円



公債費

7万8540円



教育費

7万6730円



土木費

7万3956円



総務費

6万7773円



産業振興関係

5万101円



防災対策関係

3万2441円



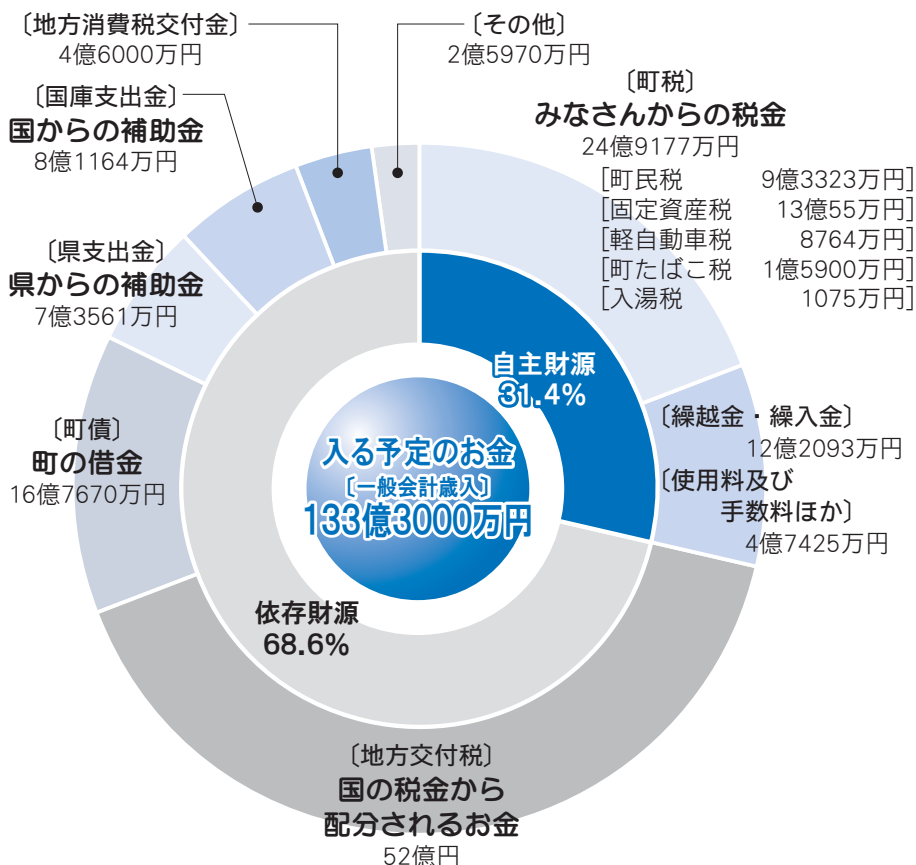
衛生費

3万2135円



議会費・予備費

8666円



〔消防費・災害復旧費〕
町の防災対策などのために
7億6653万円

〔議会費・予備費〕
議会運営・その他
2億671万円

〔衛生費〕
町の衛生などのために
7億7381万円

〔農林水産業費・
商工費・労働費〕
町の産業振興のために
11億9507万円

〔民生費〕
福祉などの
充実のために
33億358万円

使う予定のお金
〔一般会計歳出〕
133億3000万円

〔総務費〕
計画推進の
ための経費
16億1658万円

〔公債費〕
町の借金返済
18億7342万円

〔土木費〕
土木工事などに
17億6407万円

〔教育費〕
学校や生涯学習
のために
18億3023万円



国民健康保険事業

26億9000万円

国民健康保険の加入者が病院などで受診した時の医療を一部負担するほか、特定健康検査などを行います。



福祉、
生活環境の
充実に

74億6930万円

(対前年2億4520万円増額)



介護サービス事業

960万円

要支援1・2の方へ介護予防サービスや健康教室などを行います。



介護保険

30億9300万円

介護や支援が必要な被保険者に介護・予防サービスなどを提供し、サービス費用のうち、本人負担を除いた費用を事業者などに支払います。



後期高齢者医療

2億8100万円

75歳以上の方の保険料の徴収や各種申請などの窓口業務を行います。



町営駐車場事業

280万円

町営西町・南町駐車場の整備や維持管理を行います。



霊園事業

290万円

墓地及び周辺景観の保全と形成。墓地の整備や維持管理を行います。



加美郡介護認定審査会

600万円

要介護認定の審査や判定を行う介護認定審査会を運営しています。

水道事業会計
安全・安心な水の
安定供給の維持に努
めています。

企業会計

【収益的収支】収入 5億3500万円
支出 5億3500万円

【資本的収支】収入 271万円
支出 1億8498万円



浄化槽事業

1億1700万円

下水道の事業区域外で浄化槽を設置し、浄化槽の適切な維持管理を行います。新年度は40基の整備を予定しています。



下水道事業

12億6700万円

中新田・広原・鳴瀬・東小野田・宮崎小学校区の一部で供用されています。施設の維持管理などを行います。

地方創生の推進

東北総合体育大会のボルダリング会場

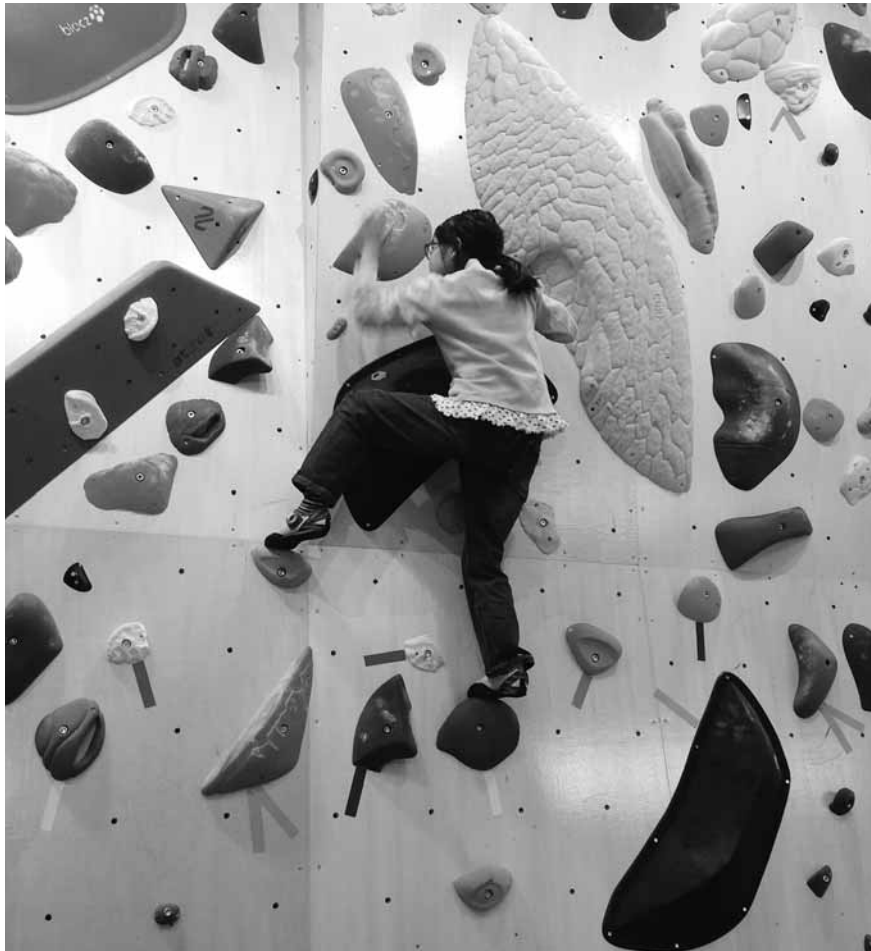
議案
審議

観光の振興（ボルダリング施設）

「ボルダリングパークやくらいWALL」
ウォール
指定管理者決まる

加美町ボルダリング施設の指定管理者を、昨年12月20日から今年1月25日まで公募したところ、2社より応募がありました。申請内容を審査した結果、指定管理者は特定非営利

活動法人ファーストアッセントジャパン（仙台市）に決まりました。指定管理の期間は、平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間で



問 総合ターミナル施設に、2つの指定管理者が入るが、その管理区分は。

答 ぶな林・地ビール製造所とトイレや駐車場などは、加美町振興公社が管理し、今回のボルダリング施設は、ファーストアッセントジャパンが管理する。

問 夏に東北大会などが予定されているが運営はどこがするのか。

答 東北総体、国体のボルダリング競技は山岳競技のため、宮城県山岳連盟が主に運営する。

地域密着型通所介護

指定居宅サービス事業の

人員・設備・運営の基準改定

介護サービスに係る基準が介護報酬に係る改定と併せて3年に1度見直されます。それを受けて30年度に条例の一部を改正するものです。

例えば、認知症対応型通所介護については、地域密着型の介護老人施設の

利用定員数を「1施設あたり3人以下」から「1※ユニットあたり12人以下」とするなど、基準を緩和します。定期巡回型訪問介護などについては、地域の利用者に対するサービス提供義務を明確にしています。



Check

※1 ユニット

介護老人福祉施設などにおいて、少人数の家庭的な雰囲気の中でサービスを提供するために、居室をいくつかのグループに分けた1つの生活単位。

問

夜間対応型訪問介護は実施しているか。また、認知症対応型通所介護施設は何力所か。

答

現在、加美町に夜間対応型の事業所はない。認知症のグループホームは、4事業所7ユニットとなっている。

陸上競技場

写真判定システム購入

790万5600円



問

システム購入費の内容は。

答

スターターシステムのピストルなどの機材を含めると高額になるので、カメラシステムだけを交換することにしたものである。

陶芸の里スポーツ公園陸上競技場に設置してある写真判定システムが、破損するなど更新時期を迎えたため、新たに購入するものです。

6社を指名し入札に付した結果、3月5日、株式会社オノヤスポーツ仙台に決まりました。

人事案件

人権擁護委員の推薦同意

人権擁護委員は、人権相談や人権の考えを広める活動を行う民間ボランティアで、法務大臣からの委嘱となります。

今回、任期満了に伴い、中新田地区から引き続き大場幸さんと、新たに諸岡則子さんを人権擁護委員として推薦することに同意しました。

なお、任期は平成30年7月1日から平成33年6月30日までの3年間となります。



大場 幸 さん
(岡 町)



諸岡 則子 さん
(西 町)

補正予算

3月定例会では、ふるさと応援基金積立金3,668万4,000円増、下原地区定住促進宅地造成工事請負費3,858万円減、機構集積協力金交付事業補助金2,741万6,000円増、集落基盤農道等整備工事請負費5,984万3,000円減など合計2億1,592万1,000円を減額し、平成29年度一般会計の総額を137億2,202万2,000円に補正することを可決しました。

Pick up1

ふるさと応援寄付金の状況は

3600万円増額

問 ふるさと応援基金が、今年度大きく伸びているが要因は。また、これまでの寄付件数は。

答 一つは、モンベルポイントを返礼品にしたことにより、今年度分として2300万円の寄付があった。もう一つは12月から事業代行業者を1社追

加したため、1000万円余の寄付があった。

また、「自然環境を守るため」「未来を担う子どもたちのため」「活力あるふるさとづくりのため」という3つの使途を明示していることも要因と言える。1月末現在で2012件となっている。

一般会計の補正予算の主な内容

歳出の主な内容		補正額
歳入	地方消費税交付金	1758万円 減
	農山漁村地域整備交付金(県支出金)	4284万円 減
	ふるさと応援基金寄付金	3600万円 増
	国立音楽院 雑入	565万円 減
歳出	ふるさと応援基金積立金	3668万円 増
	障害児通所施設給付費	1651万円 増
	除雪委託料	1351万円 増
	救急医療センター運営費(負担金)	795万円 増
	若鮎給付型奨学金	100万円 増

Pick up1

Pick up2

Pick up3

※Pick upは、議員が質問した項目を中心に選んでいます。

Pick up3 若鮎給付型奨学金

100万円増額

問 若鮎給付型奨学金の給付状況と残額は。

答 今回、企業から100万円寄付があり、創設以来の累計は2435万円余りとなっている。これまで、12人に給付し今後、4人に給付が可能な状態である。



Pick up2 国立音楽院 雑入

565万円減額

問 国立音楽院の雑入、565万円の内訳は。

答 水道・電気・ガスなどを実費負担してもらっている。月額電気料を70万円、水道・ガス代4万円と合計840万円を見積もっていたが、実際は、300万円余りだったため減額した。



町政を問う

8人が登壇

似顔絵をかいてくれたおともだち

学校法人慈園学園

中新田幼稚園・なかよしこども園

ゆり・きく組



一般質問目次

通告1

木村 哲夫 (きむら てつお) 14ページ



1. 世界農業遺産認定の受けとめは
2. 介護慰労金の受給資格見直しを
3. 不登校対策

通告5

伊藤 由子 (いとう ゆうこ) 18ページ



1. 収蔵品が危機的状況にあるのでは
2. 運営における民間委託の利点は

通告2

猪股 俊一 (いのまた しゅんいち) 15ページ



1. 新庁舎建設の考え方は
2. 宮崎下小路地区、流雪溝改修は
3. 旭小学校統合

通告6

伊藤 信行 (いとう のぶゆき) 19ページ



1. バイオマスガス化事業の休止は
2. 介護予防日常生活支援事業の現状は

通告3

米木 正二 (よねき しょうじ) 16ページ



1. 少子高齢化の加速を止める対策は

通告7

下山 孝雄 (しもやま よしお) 20ページ



1. 累積欠損の増加をどう評価するか

通告4

一條 寛 (いちじょう ひろし) 17ページ



1. 発達障がい理解促進と早期発見・療育を
2. ヘルプカードを作成・配布する考えは
3. 子育て支援

通告8

三浦 又英 (みうら またひで) 21ページ



1. 認定後の取組は
2. 障がい児者への対応は

一般質問とは、議員が町政全般に関して、町長や教育長など執行機関に対し質問することで、定例会（年4回）ごとに行われます。

農業遺産

世界農業遺産認定の受けとめは



木村 哲夫 議員

町 長 維持、継承していかなければならない



防風林の役目もある居久根

問 将来にわたって維持していくための農業支援及び水田、居久根の保全は。

町長 担い手の確保に力を入れていく。居久根は大変高く評価されているが、保存が難しい状況になっている。

今後、地域の方々と検討していきたい。

農業委員会 加美町は、大崎耕土の6分の1を超え

る水田面積を有している。農業委員会では農地保全・担い手への集積・遊休農地の発生防止や解消、新規参入担い手の育成活動を行っている。

問 農業遺産認定を今後どのように活用していくか。

町長 推進協議会では、

アクシヨンプランを平成30年度中に策定する予定で、認証制度のブランド化・観光への活用・移住定住の促進・都市と農村の交流拡大などが盛り込まれる。町でも、活用して推進していきたい。

問 学校教育の一環としての取り組みは。

教育長 社会科で使用する副読本に、世界農業遺産を取り上げていく。

認定された理由である自然資源や伝統文化のすばらしさなどを学習させ、郷土を愛する心を育てていきたい。

高齢者介護

介護慰労金の受給資格見直しを

町 長

近隣市町村を調査して検討したい



健康で長生きを

問 女川町の受給資格は、要介護3以上のみで、美里町は、寝たきり老人などで介護度指定はなく、在宅なら介護サービスを受けていても可能である。財源は、いずれも任意事業の交付金を使用しているが。

保健福祉課長 2町と比較するとばらつきがあり、今後、近隣市町村の支給状況の要件などを調査して検討したい。

問 寝たきり老人等介護慰労金支給事業の受給資格などの条例見直しの考えは。

町長 現在の受給資格は、要介護4、または5相当で、町民税非課税世帯で、介護サービスを受けていないことである。条件緩和も一つの考えだ

不登校対策

問 かみ町子どもの心のケアハウス事業の目的は。

教育長 不登校児童生徒の心のケア、学習支援、学校生活への自発的な復帰を促す。

公共施設

新庁舎建設の考え方は

町長

西田の公約は、依然として存在

問

中新田地区商店街
拠点施設・アウトド
アショッピング・中新田公民
館などの建て替え計画は、
いずれも新庁舎建設と関
連していると思う。公共
施設等総合管理計画にと
う反映して行くのか。

町長

公共施設等管理計
画は、既存の施設を
対象としたものであり、
中新田公民館はこの中の
個別施設計画になる。
商店街の拠点整備とモン
ベルからの提案は、全く
計画には反映されない。

問

新庁舎建設の考え
方は。

町長

西田に木造でコン
パクトにという公約
は、依然として存在する。
矢越・西田両町有地の
利活用を考えていくべき
で、建設時期や財源など
は決めている。

問

現在の中新田公民
館は築44年であるが、
耐震強度は。

建設課長

耐震診断もしてお
り、安全である。コ
ンクリート強度も十分と
いう結果が出ている。



猪股俊一 議員



加美町役場（本庁舎）

排雪対策

宮崎下小路地区、流雪溝改修は

町長 一部改修と水量の確保を検討

問

宮崎下小路地区の
流雪溝改修は。

町長

冬期間の水量と排
雪量により、対応で
きないのが現状である。
一部改修と水量の確保な
どを検討していく。

問

広い道路も狭い道
路も、通行に支障が
あったことだが把握
しているのか。

宮崎支所長

積雪が多くなった
場合、運搬排雪など
を行い対応している。



早朝から除雪車が大活躍！

旭小学校統合

問

教育課長

町長

統合のスケジュールと跡地利用は。

平成31年4月に宮崎小学校と統合する。

地域の拠点とすることが大事であり、地
域の思いを受けてより良い活用策を考える。



米木正二 議員

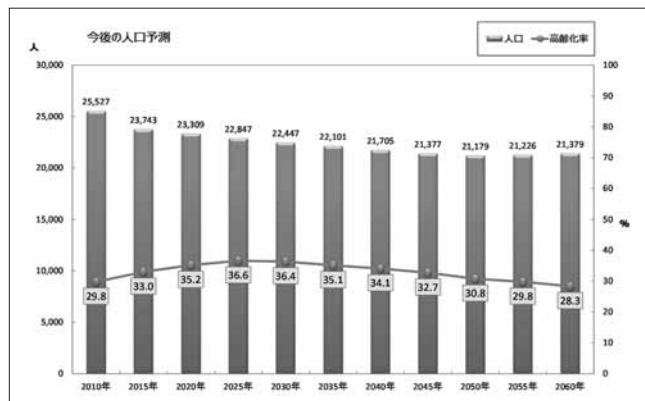
施政方針

少子高齢化の加速を止める対策は

町長

まち・ひと・しごと創生総合戦略をつくり進めてきた

現状推移シナリオ



最適シナリオ



加美町地区別人口シミュレーションの結果
(H30.2.27 全員協議会資料)

問 加美町の人口は、合併後15年間で4436人減少した。2030年には19200人に減少し、高齢化率は40%に達することである。加速を食い止めるための対策は。

町長 危機感を持ってこの問題に取り組まなければならぬ。町でも人口ビジョンを策定し、まち・ひと・しごと創生総合戦略をつくり進めてきた。自然動態、社会動

問 町の人口シミュレーションでは、現在の合計特殊出生率1・51を2・07に上げることがだが、実現の見通しは。

町長 確かに高く設定しているが、加美町は子育て支援制度が充実している、決して無理ではない。目標に向かって取り組んでいく。

問 子どもを産み育てやすい環境づくりも大事である。※2ネウボラに取り組んでいる自治体もあるが。

町長 子育てに関して県内では先駆的だと思っている。ネウボラの取り組みはしている。

問 相談窓口や支援体制の一元化が必要では。平成32年度中に子育て世代包括支援センターを立ち上げるべく検討している。

Check

- ※1 合計特殊出生率
1人の女性が生涯に産むと見込まれる子どもの数です。15歳から49歳までの女性が産んだ子どもの数を元に算出します。人口を維持できる水準は2・07とされ、将来の人口が増えるか減るかをみる指標です。
- ※2 ネウボラ
フィンランドで制度化されている子育て支援施設のことです。「アドバイザーをする場所」という意味です。妊娠、出産から就学前までの育児を切れ目なく継続的に支援するのが特徴です。

問 雇用対策も大事である。起業などの支援策は。

町長 移住定住対策として、空き家の活用と定住コーディネーターの配置は。空き家バンクを利用し、取り組んでいる。コーディネーターについては考えていく。



子育て環境の充実を



一條 寛 議員

障がい者福祉

発達障がいの理解促進と早期発見・療育を

町長

養育者の適切な対応を指導している

問 「発達不均衡」「発達凸凹」とすべきとの意見もある発達障がい

を、親や周囲の大人が早期に気づき、理解し支援することが大切と考えるが。

町長 乳幼児健診において、問診や医師の診察などを通して発見し、

子どもの特性に合わせた養育者の適切な対応を指導している。

問 子どもの社会性の発達を測定する、※₁ゲイズファインダー活用

の考えは。

町長 親が客観的に子どもを理解するのに有効と思うが、導入後の支援体制の整備など課題も

多くある。使用している所の情報提供を受け考えたい。

問 保健師・保育士などの知識の習得と研修の状況は。

保健福祉課長 保健師は発達障がいの理解と適切な療育の研修に参加している。

保育士には「現代の子育て世代の保護者の理解と支援」という題で研修会を開いている。

Check

※₁ ゲイズファインダー（かおテレビ）

テレビのモニターを見て、その子どもの目の動きを観察する中で、その脳を科学的に分析し判断するものです。

障がい者福祉

ヘルプカードを作成・配布する考えは

町長 導入実現に向け準備

子育て支援

問 子育て情報をスマートフォンアプリで提供する考えは。

町長 メリットや費用対効果を慎重に検討し進める。

問 障がい者が災害時や日常生活の中で困った時に、周囲に理解や支援を求めるためのヘルプカードを作成し、配布する考えは。

町長 障害者自立支援協会の地域支援部会において、ヘルプカードの役割を果たすサポートシートを検討しており、カードへの記載内容や具体的な場面を想定して意見交換している。今後、

問 多くの自治体が入時、参考にしている東京都のヘルプカードガイドラインを読んでいる感想は。

保健福祉課長 ガイドラインを活用し、障がい者が発信しやすい環境づくりに取り組んで行く。

ヘルプカード

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード



支援を必要とする内容や注意事項緊急連絡先などの情報を事前に、記入するカードで緊急時や災害時などに支援してくれる人に渡すとても役立つカードだよ。



収蔵品が危機的状況にあるのでは



伊藤 由子 議員

生涯学習課

緊急避難対策を検討

問 縄文芸術館・東北陶磁館は、雨漏り、天井や床の至るところにシミがあり、収蔵品・保管品が危機にひんしているが。

生涯学習課長 これまでの雨漏りに加えて2月下旬の寒波で想定外の状況であり、東北陶磁館は、2月3月は休館の状態である。

問 展示・保管している作品を緊急避難的に既存施設に移せないか。

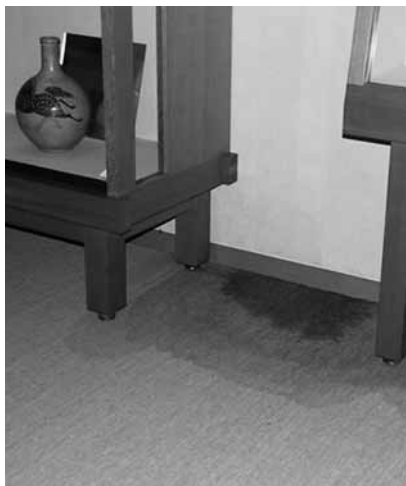
生涯学習課長 緊急避難場所としてふるさと陶芸館が考えられるが、検討中である。

問 個別施設計画の方針に適切な点検・診断とある。客観的な評価をするためにも、共通のチェックリストが必要では。

総務課長 現在、統一した基準はない。今後、公共施設の長寿命化にあたって検討していく。

問 新博物館の整備は、加美町の未来をつくるための投資であるという方針にあるが。

教育長 加美町に由来する歴史的なものを子どもたちに知ってもらい、未来につなげていきたい。博物館の一番大きな目的は、加美町の未来を担う人材育成に資するということだと思う。



雨漏り被害の一部
(東北陶磁館展示室)

学校給食

運営における民間委託の利点は

教育総務課長

調理・衛生管理の専門的技術の優位性

問 業者選定にあたって、どんな提案が高評価だったのか。

教育長 ①研修体制②地元雇用を前提とした人員配置③地産地消の推進に協力的

以上を総合的に評価し、プロポーザル方式で業者を選定した。

問 学校給食非常勤職員の退職者が多かったが、今後の対策は。

教育長 この7年間、人事異動を実施してなかったため、結果的に組織の硬直化がみられた。今後は、働きやすく風通しの良い職場づくりを実現していきたい。



安全安心の給食 「いただきま〜す」

問 学校給食の運営における民間委託の利点は何か。

教育総務課長 調理および衛生管理のノウハウは、直営よりも、はるかにレベルが高い。職員の研修も定期的に実施しており専門性が高い。

問 加美町学校給食の基本的な考え方は、可能な限り学校単位で調理し、運営は民間委託を導入するところか。

教育長 文部科学省の指導では、栄養士が配置されている学校を対象とする。当面、すべての学校に導入する予定はない。



伊藤 信行 議員



技術革新が期待されるバイオマスガス化

地方創生

バイオマスガス化事業の休止は

町長

調査研究を進め実現させたい

問 「里山経済の確立」の総合戦略は。

町長 資源を活用したお金の循環を生み出して、この実現を加速させるために加美町では、まち・ひと・しごと創生戦略「イカノエ」で地方創生に取り組んでいる。

問 バイオマスガス化事業が突如休止となったが、中止するのか。

町長 この計画を諦めたわけではなく、解決策はある。調査研究を進め、このプロジェクトを実現させていきたい。

問 移住・定住について「これは人さらい政策だ」と言っている評論家もいるが。

町長 移住を考える人たちの希望が叶えられるように支援していく。決して人さらいではないと理解している。

高齢者福祉

介護予防日常生活支援事業の現状は

町長

介護予防元気応援講座を行っている

問 平成29年度スタートした介護予防日常生活支援事業の現状は。

町長 介護予防生活支援サービス事業で、訪問型は昨年4月から平成30年2月まで134件。一般介護予防事業は、介護予防元気応援講座を行っている。今年度は、63回、1400人が参加している。

問 在宅医療介護連携推進事業の現状は。

町長 平成28年4月に県内初の加美町・色麻町と共同で加美郡在宅医療介護連携推進協議会を設立した。医療介護関係者、住民に徐々に周知されてきたと感じている。住み慣れた地域で最期まで暮らせるケアに取り組んでいる。



一般介護予防事業「筋力アップ教室」



下山孝雄 議員

公立加美病院

累積欠損の増加をどう評価するか

町長

収益増と経費削減の努力が必要



緊急時の対応などが期待される公立加美病院

問

公立加美病院は、累積欠損が増え続け、平成28年から資金収支がとれない状況をどう評価しているか。

町長

累積欠損は、平成28年度末で、18億2840万円となっており、平成29年度に1億2千万円の資金不足が生じ、資金繰りが厳しい状況となっている。

郡内の人口減少が大きい中、要望に応えるための小児科医の確保や、在宅医療などの収益を増やし、経費削減するための経営努力が必要と考える。

問

地域医療構想の中での公立加美病院の位置付けは。また、大崎市民病院、地域診療所、福祉施設などの連携は。

町長

平成28年度に策定された、県の地域医療構想では、将来的な患者数の動向、それに必要な圏域の病床のみが示されている。

公立加美病院について、具体的位置付けはなされていない。今後、地域医療構想調整会議において、協議される予定である。

問

団塊の世代が、^{※1}後期高齢者になると、医療費の増加が心配される。在宅診療、リハビリ、災害時、緊急時への対応などに公立加美病院への期待が大であるが。

町長

在宅診療は、現在月70人程度、24時間、365日体制で積極的に取り組み、高い評価を得ている。

サポート体制も取っているが医師1人であり、継続していくためには、医師の複数配置も必要である。
震災時在宅酸素療法者に対する処置は高い評価を受けた。

Check

※1 後期高齢者

平成20年4月より老人保健制度は全面的に改正され、後期高齢者医療制度が創設されました。年齢により2つの制度に区分され、65〜74歳は前期高齢者医療制度、75歳以上は後期高齢者医療制度の対象となります。

地域防災計画では、災害医療の拠点・中心組織と位置付けられている。
地域住民から寄せられる声を意識改革に取り組んでいく。



在宅酸素療法関係の医療機器

認定後の取組は

町長

プラン作成し次世代に継承

問 認定を活用した農業振興策は。

町長 平成30年度策定のアクションプランを取り入れ、振興を図る。

問 居久根を保存する条例の制定は。

町長 保存は難しい問題。意見を聞き、知恵を出し合い考えていく。

問 居久根や河川敷の薬草栽培で面積の拡大や種目を増やす考えは。

林長 農課 環境条件も含めた栽培マニュアルを作成し、産地化に向けて進めていく。

問 地区別人口シミュレーション結果と関係人口は。

町長 関係人口の増は移住・定住人口の増加につながるので、地域が主体となり取組む体制づくりを進めていく。



薬用植物「カンゾウ」の産地化へ向けて

Check

※1 関係人口

観光以上、定住未満の関わり方で、特定の地域に関わり続ける層を指します。長期的な「定住人口」や短期的な「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わることが地域を元気にするといわれています。

障がい者福祉

障がい児者への対応は

町長

障がいのある方の安心な暮らしを

問 重症心身障がい児者の家族が休息を取れるよう、放課後等デイサービス事業所、医療型短期入所施設などの確保と支援対策は。

町長 重症の心身障がい児者は、訪問介護と在宅介護や重度訪問介護などを利用しており、家族の負担が大きい。医療型短期入所施設は、地域の偏りが大きく、大崎圏の医療機関などに働きかけていく。

また、医療的ケアを要する未就学児は、平成30年度から大崎広域ほなみ園で受け入れる。

問 介護者の高齢化、肉体的・精神的負担軽減を図る上で、公立加美病院での短期入所の取り組みの検討、協議を強く望む。

町長 公立加美病院の運ニーズと経営の両面から選択肢も含めて検討委員会などで十分協議していく必要がある。



療育拠点のほなみ園（大崎市）

加美町営町浦住宅 シルバーハウジング完成

臨時会
2月9日



宮崎地区に、加美町営町浦住宅シルバーハウジング新築工事の請負変更契約締結の専決処分について報告を受けました。

主な内容は、①近接する教員住宅の屋根排水設備の切り回し工事。②建物西側外壁面に防犯灯を兼ねた照明器具設置工事。③駐車場の区画線、車止めなどの工事で、80万1360円を追加し、74万8千1360円に変更しました。

補正予算

低温や大雪の影響に伴う施設修繕工事及び除雪経費のほか、3000万円を追加する補正をしました。

問 除雪について休日の役場の対応は。

答 警備員に電話が入ると、職員への連絡体制が整っている。雪が降った日は、朝3時からのパトロールで随時、路線に除雪が疎かにならないよう委託先にも連絡を取っている。



臨時会
3月29日

子育てしやすい環境整備

下原地区定住促進宅造成工事の請負変更契約

下原地区定住促進宅宅造成工事の請負変更契約締結の専決処分について報告を受けました。

主な内容は①造成地全体に見つかった地中残存物やコンクリートなどを撤去する工事。②混入している掘削土へ玉石などの分別作業と場外運搬処分作業。③上層・下層路盤の施工を取り止めるなどの変更を行った工事で、30万6720円を追加し、58万6220円に追加し、58万6220円に変更しました。

なお、平成30年3月28日までに工事は完了しており、5月からの募集開始に向け準備を進めています。

補正予算

主な歳入は、特別交付税573万6千700円増、臨時道路除雪事業費補助金900万円増などで、主な歳出は大崎地域広域行政事務組合負担金41万7千340円減などで68万9千080円を追加し、歳入歳出



下原レイナービレッジ

それぞれ1億3千84万5000円とする補正予算を可決しました。

問 例年にない寒波により道路の凍みあがりが発生した。国や県との補修の話し合いは。

答 現在、凍上災に該当する寒さで舗装に損傷を与えている町道21路線を県へ要望している。

臨時会

4月13日

補正予算

地方創生推進交付金など歳入歳出1046万6000円を追加し、133億4046万6000円とする補正予算を可決しました。

地方創生推進交付金2053万2000円で、やくらいパークゴルフ場に隣接する広場を、ラン

地方創生推進交付金を活用

ランニングバイクパークなど

ラングバイクパークを整備します。

問 ランニングバイクの予想される効果は。

答 年間500人を見込み、大会では250人の参加者を見込んでいる。約200万円の経済効果を期待している。

問 委託の内容は。

答 全国でランニングバイクの大会を運営するストラライダージャパンに、選手の募集・大会運営・ノウハウの指導も含め150万円で委託する。

今年と来年委託し、その後は地域主導での開催を検討したい。

問 着地型観光広告料400万円の内容。

答 夏・秋・冬の3回、アウトドア特集を仙台圏対象に広告を出す。

問 ツール・ド・347のプレ大会の検証は。

答 「やくらい」発着が望ましい。今年は尾花沢市に加え、大石田町とも連携する大会にしていく。

問 マウンテンバイク、カヌー、今回はランニングバイクと、継続的に使用しなければいけないが、カヌーはどの程度使ったのか。

答 やくらの林泉館とぶな林の間に艇庫を設置し、カヌーのレンタルを始めるので、これからである。

処理方法の研修

放射性汚染廃棄物等調査特別委員会



東北大学名誉教授 大槻憲四郎氏の説明 (3月2日)

特別委員会では、東北大学名誉教授大槻憲四郎氏を講師に招き、セシウム微粒子の特性や焼却処理の問題点、すき込み処理などについて説明を受けました。

この処理については、見解が異なる部分もありますが、現在、放射性汚染廃棄物処理は、県が主導で、8000t以下の処理は圏域ごとに焼却やすき込み試験の方向で進んでいます。

タブレット活用に向けて

議員会研修会



タブレットを活用した議会のICT化 (2月2日)

会議の効率化や議員活動における資料作成の費用削減などのメリットが多いことが示され、実際に手に取って使い心地を試しました。

使用者全員の画面を一齐に同じページに変えたり、直接画面にメモ書き出来る便利な機能も確認しました。

議会のICT化は、現在多くの自治体が行っているように思います。

モニター 座談会

平成30年2月7日

議会だよりモニターと広報委員は、「読者層を広めるための広報づくりは」をテーマに座談会を行いました。

平成29年度のモニターには、57号から60号までの議会だよりの感想、評価をお願いしていました。



猪股 誠 さん
(北永志田)

モニター 余白が多いという声がありますが、余白が多いうえ、問答が簡潔すぎると感じています。もっと詳しくしてくれないと、よくわからない時があります。

広報委員 広報の編集では文字・写真・余白の割合は3割程度と言われています。質疑応答の内容をわかりやすくという意見は大事にしたいと思います。

モニター 個人差はあると思いますが、活字が多いと、疲れる人もいるんじゃないかと気になります。



伊藤 恵 さん
(四日市場沖)

広報委員 一般質問のやり取りは、約1時間ほど、それを600字あまりにまとめています。字数が多くなると読んでもらえるか心配です。

表紙は、子どもをメインにしています
モニター 子どもの表情はいいと思ってみています。元気をもらえるような気がします。

広報委員 いつもお母さんとお父さん、子どもが、たまにはお父さんもいいと思います。

広報委員 母親に限っているわけではないかもしれません。今後、父親が子育ての場面に、普通に登場するようになれば、写るチャンスは増えると思います。



山崎 芳和 さん
(南鹿原)

読者層を広げる広

住民参加のコーナー、
議会だよりに必要な
という声がありますが

モタ 議会だよりの趣旨
からは離れていると
思います。主張があると
いいのでは。

モタ 子育て世代にとつ
ては「おらほのコミュ
ニティ」は地域の様子が
わかっていいと見ていま
す。



澤田 せつ子 さん
(下区)



遠藤 強 さん
(北川内)

モタ 手にとるきつかけ
になるので、あつて
もよいと思います。

報員 広委 議会広報に、住民
参加のページは必要
だと言われています。こ
れからは、議会への一言
など工夫していきたいと
考えています。

文字の太さや濃さが違つ
ことに違和感があるとの
声があります

モタ 答弁が質問に比べ
て、字が薄くて読み
にくい感じがします。

報員 広委 確かに質問の文字
が太い上に網掛けを
して強調しています。

モタ 文字は同じにして
しょうか。

モタ 議員は町民側とい
う立場なので、あえ
て強調し、答弁は控えめ
に表していると思ってい
ます。

報員 広委 指摘のとおりです。
従来から、この流れ
を継続しています。

これからの広報紙づくりに一言

モタ 議会に関する疑問
やクイズなど、ちよつ
としたコーナーがあれば
いいなと思います。(気
軽に投稿できる?) 子ど
もも興味を持つんじゃない
でしょうか。

モタ ネットで議会広報
をとつたら雑音は増える
けど大勢の若者の声が聞
けると思いますが。

報員 広委 貴重なご意見あり
がとうございます。
今後、読者層を広げ
る広報紙づくりに努めて
いきます。



浅野 隆博 さん
(中新田城内)



あれからどうなった

vol.32

平成29年2月定例会の一般質問内容が、その後どう取り組まれたかをお知らせします。

議会広報No.57から

■新たな法人などが出てくる仕掛けは



問 真剣に町おこしを考えるNPO法人などが出てくるような町の仕掛けがあってもいいのでは。

答 地域おこし協力隊員が一緒になってNPOを立ち上げる、あるいは地域の人々とともに立ち上げることもありうる。地域おこし協力隊は、地域に新しい風を吹き込み、新しいものを生み出す存在だと思っているので、町としても支援体制を整え、3年後のことも見据えて相談に乗り支援していきたい。

その後

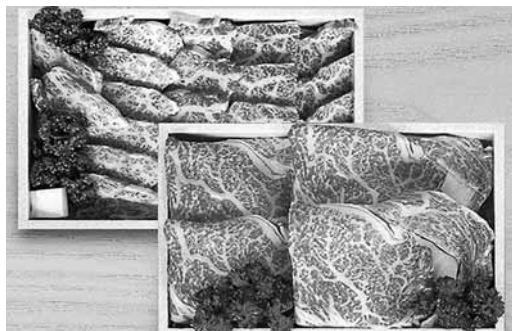


■住民主体の地域力向上に取り組む

平成27年度より、住民主体の地域力向上に取り組んでいます。モデル地区を選定し、アンケートを実施するなど地域の現状と課題の把握に努めています。地域おこし協力隊と地域支援員が地区公民館に常駐し、行事に参加するなど新たな活動支援や人材育成を進めています。

議会広報No.57から

■返礼品で地場産業の活性化を



問 ふるさと納税は自治体の財政基盤を強化し、農産物などの返礼品は地場産業を活性化させているが取り組みは。

答 平成26年12月にサイネックスと業務提携、平成27年9月に納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」に登録し、寄付者には、町の特産品である、米、野菜、酒、肉などを寄付金額の4割程度返礼品としている。

豪華さや割高感を競うのではなく、地域に根差した返礼品の充実に努める。

その後



■情報発信強化で寄付増加

返礼品を寄付額の3割に下げたが、さらに情報発信を強化するため「株さとふる」と提携し、地場産品など34品の返礼品を揃え、前年度比4倍以上の6,400万円もの寄付が集まった。これまでいただいた寄附は、30年度の公園の維持修繕や農業振興など町の事業に活用する。これからも地域資源を活用した返礼品を増やしていきたい。

トピックス

町村議会広報全国コンクール優良賞（9位） 分かりやすく伝えるために

「かみまち議会だよりNo.56」（平成29年2月1日発行）が、第32回町村議会広報全国コンクール（応募総数279紙）において、優良賞（9位）を受賞しました。

1次審査で30紙に絞られ、2次審査において上位10紙と、表紙写真賞、企画構成、デザイン部門などの奨励賞が決まります。

これまで取り組んできた、議会改革の一つである子ども議会の開催をはじめ、議会モニター制度などの取り組みへの姿勢が評価されたものです。

今後も、皆さんに分かりやすく伝えるために、今回の受賞を励みに努力して行きます。



「かみまち議会だよりNo.56」
（平成29年2月1日発行）

月刊「地方議会人（2018.3）」で紹介されましたので、一部ご紹介します。

トップ企画「子ども議会」やモニター座談会など住民参加・登場が多彩。一般質問コーナーの議員の似顔絵など、製作にも住民の一体感があります。各頁の見出しが的確で写真配置など、訴求力のある紙面展開です。（審査委員講評）

●議長交際費内訳 （1月～3月）

情報公開

月	件数	金額	内 訳
1月	8件	27,500円	会費
2月	1件	6,000円	会費
3月	2件	10,000円	会費
合計	11件	43,500円	

“傍聴に来てけらいん”

議会定例会の日程は、開会前に各家庭にチラシを配布してお知らせします。

ぜひ、傍聴にお越しく下さい。

議会傍聴された方

件 名	会 期	傍聴者数	
		男性	女性
2月臨時会	2月9日	0	0
3月定例会	3月7日～16日	7	0
3月臨時会	3月29日	0	0
4月臨時会	4月13日	1	0

次回の定例会は
6月上旬頃
の開会予定です

議会だよりへ一言

議会だより60号（平成30年2月1日発行）に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター 道路計画の地図などがあればさらに分かりやすい。



広報委員会として 町道〇〇線道路拡張工事など現場の写真を掲載したりしますが、位置図の方が分かりやすい場合やスペースにもよりますが、写真と地図の両方を掲載できる場合は掲載して、全体的に分かりやすい表記になるように努めます。

表紙写真の紹介



火伏せの虎舞の練習
（4月19日）

中新田幼稚園・なかよしこども園の年長児のみなさんが、初午まつり（4/29）で披露する「火伏せの虎舞」を本番さながらに練習しました。

「早くお祭り来ないかなあ」



～今日も走る「やすらぎ号」～

中新田・白子田（29戸）

猪股 雄一 区長



「やすらぎ号」は地域住民で運行する乗り合いバスです。

わが白子田行政区は、南



集落内を走行する「やすらぎ号」（定員10名）

北約3kmの範囲に29戸が点在し中心部から約7kmの距離があるので、子どもや高齢者が、安心して通学や通院するため、各世帯の毎月定額負担による地域バス運行を当時の中新田町に提案し、町は難問を解決しながら実現しました。昭和61年から中新田中心部を結ぶ「おらほの公共交通機関」として、日曜・祝祭日、年末年始を除く毎日朝7時過ぎの始発から午後6時まで、4往復を定時運航しています。ピーク時には年間2万人を超える利用者がありました。

現在は、白子田・青木原・滝ノ沢の三行政区による地域活性化協議会を組織しています。

地域経済に寄与するため、ドライバーも地元住民が従事しています。高齢化が進み、運転免許を自主返納する方も多く見込まれ、「やすらぎ号」の活躍が益々期待されます。

われらが仲間

加美絵手紙サークル



私達のサークルは今年で21年目を迎えます。和やかな雰囲気が好まれ、いつも20人以上が集まり人気があります。

4月から12月までの第2木曜日に仙台から講師を招き、季節の画材で勉強します。

制作する物は葉書の他に巻紙、カレンダー、うちわなど色々です。現在は手紙を書く人が少なくなり電話で用が済む時代だからこそ、自分の伝えたい気持ちを手で描き、言葉を添えて差し上げるので想像以上に喜ばれています。

11月に「絵手紙あったか展」として作品展を実施します。同時に体験コーナーを設けて初心者に指導し皆さんに喜んでいただいています。その場で年賀状を仕上げて持ち帰られる方もいます。季節感や自分らしさを出して描く絵手紙は、楽しいもので認知症の予防にもつながります。

「下手でいい、下手がいい」の合言葉をモットーにしていますので一緒に始めませんか。

開催日 毎月第2木曜日
場所 加美町中新田図書館
連絡先 伊藤 洋子 ☎63-2113

編集後記

今回の61号の発行については、3月定例会で行われた予算審査特別委員会の内容、修正案に至る経緯について詳しく掲載するように努めました。

議会改革の一環として、今回の予算審査から、関係職員に出席してもらい、より詳しく審査を行った上で、修正案を可決しました。

今後とも、議員一丸となり、議員の職責であるチェック機能を果たすべく努力していきたいと思っています。

（高橋 聡輔）

議会広報常任委員会

編集委員

委員長 伊藤 由子
副委員長 味上庄一郎
委員 早坂 忠幸
三浦 進
高橋 聡輔
一條 寛